

令和3年度中河内病院連絡会結果（概要）

開催日時：令和3年12月21日（火）14：00～16：00

場 所：若江岩田駅前市民プラザ 多目的ホール

および「Cisco Webex Meetings」を活用したハイブリッド形式

出席状況：別紙参照

1. 地域医療構想の推進に関する意見

○過剰病床である高度急性期病床への転換を考えている病院に対して、中河内の地域性から、脳や循環器の救急ホットラインやがんに積極的に対応するために、高度急性期病床が必要と考えることについては、一定の理解はできる。

○回復期病床については、これまで、地域急性期を回復期に転換している例が多く、実際の回復期機能の病床数は増えていない。重症急性期を地域急性期もしくは回復期病床へ移行するための議論と検証を公立・公的病院だけでなく民間等病院も含めてする必要がある。

○地域医療構想の推進にあたっては、今般の新型コロナウイルスの感染症対応の経過や課題を明らかにして同時に再検討する必要がある。

○地域医療を地域内で完結し、非常時にも地域で対応していくには、平時から余裕を持った医療体制・病床運営が必要になる。各種データや実情を踏まえ圏域内の医療提供体制について議論することや計画の再考が必要。

2. 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

（1） 公立・公的病院

●市立東大阪医療センター

（病院への意見）高度急性期病床への転換がなぜ必要なのか。

（病院の回答）ICU が満床で稼働しており、術後管理や救急受け入れができるよう高度急性期病床の増床が必要になっている。

（2） その他、民間病院等

●医療法人藤井会 石切生喜病院

（病院への意見）高度急性期病床への転換がなぜ必要なのか。

（病院の回答）ICU が満床で稼働しており、救急受け入れや悪性腫瘍への積極的な対応のためHCUが必要になっている。

令和3年度中河内病院連絡会参加率と病院プラン提出状況

資料4 (別紙)

保健所名	公立・公的・民間等	対象※病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院連絡会欠席病院	病院プラン提出病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン未提出病院
藤井寺保健所	公立	1	1	100.0%		1	100.0%	
	公的	0	0	0.0%		0	0.0%	
	民間等	1	1	100.0%		1	100.0%	
	合計	2	2	100.0%		2	100.0%	
八尾市保健所	公立	1	1	100.0%		1	100.0%	
	公的	0	0	0.0%	医療法人大和会 辻野病院	0	0.0%	
	民間等	9	8	88.9%		9	100.0%	
	合計	10	9	90.0%		10	100.0%	
東大阪市保健所	公立	1	1	100.0%		1	100.0%	
	公的	1	1	100.0%	医療法人清和会 ながはら病院	1	100.0%	
	民間等	17	16	94.1%		17	100.0%	
	合計	19	18	94.7%		19	100.0%	
合計	公立	3	3	100.0%		3	100.0%	
	公的	1	1	100.0%		1	100.0%	
	民間等	27	25	92.6%		27	100.0%	
	合計	31	29	93.5%		31	100.0%	

※：病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院